

属性・介護予防サービス利用と
介護予防に係る各種指標の
推移との関連の分析結果について
(ロジスティック回帰分析の結果)

分析方法について

- 属性等と各種指標の推移との関連について算出するため、ロジスティック回帰分析※1を用いて分析を行った。
 - 分析にあたっては、各指標について、属性・サービスの違いによる12ヶ月後の「維持・改善」または「悪化」(改善または「維持・悪化」)の状態となる確率の変化について分析した。
 - (1)全体の分析については、全数を対象に、男女別に要介護度、基本チェックリスト得点等の主要指標について、維持・改善を目的変数として分析を行った。
 - (2)各分野ごとの分析については、①各分野のサービス対象者と考えられるリスクの高い者を対象に、各分野に関連ある指標^注を中心とした指標の改善又は維持・改善を目的変数として分析を行い、さらに、②一部の分野で、分野ごとのサービス利用者を対象とした分析などの追加の分析を行った。
- 注：例えば、口腔機能向上に係る指標については、チェックリストの口腔機能関連3項目の該当の有無、かみしめの変化 など

《全体の分析》

◎要介護度



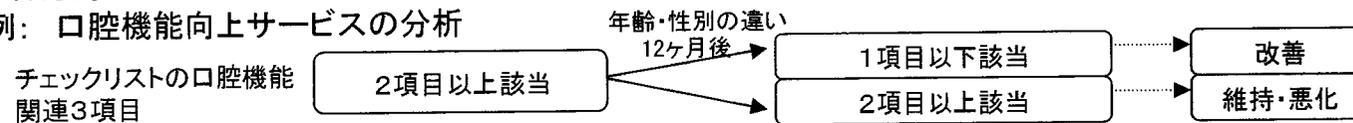
◎基本チェックリスト区分：合計得点を5つに区分(1-5、6-10、11-15、16-20、21-25)し、1区分以上の推移を改善または悪化とする。

◎主観的健康度：6区分のなかで1区分以上の推移を改善または悪化とする。

《各分野ごとの分析》

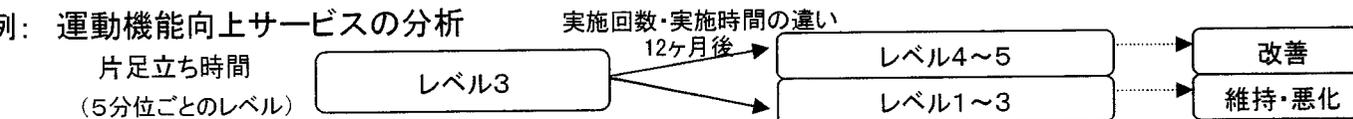
① 各分野のサービス対象者と考えられるリスクの高い者について、改善又は維持・改善を目的変数として分析を行う。

例：口腔機能向上サービスの分析



② サービス利用者について、改善又は維持・改善を目的変数として分析を行う(一部の分野で実施)。

例：運動機能向上サービスの分析



※1 ロジスティック回帰分析：ある事象の発生(目的変数)が、その現象の発生を説明するために観測された変数(説明変数)によってどれくらい説明できるのかを定量的に分析する方法。

※ オッズ：ある事象の起こる確率と起こらない確率との比。

※ オッズ比：ある事象の、一つの群ともう一つの群におけるオッズの比。

※ p値(probability)：ある事象が偶然に起こりうる確率であり、一般的に、「 p 値 <0.05 」で統計学的有意差あり(偶然に起こりうるとは統計学的に考えにくい差がある。)と判定。

※ 95%CI(Confidence Interval)：対象者全体の値がその区間に存在する確率が95%である区間のこと。

(参考)運動器の機能向上に係る指標の分析方法について

- 運動器の機能向上に係るアウトカムについては、調査開始時のデータを用いて、以下のとおり、各指標について、5分位ごとのレベルに分けた。
- 対象者について、開始時のレベルと、12ヶ月後のレベルを比較し、1つ以上、上のレベルに移行した場合に改善とみなし、同じレベル又は下のレベルに移行した場合を維持・悪化として分析した。

		レベル	握力	開眼片足立ち時間	TUG	5m歩行時間 (通常)	5m歩行時間 (最大)
男性	特定高齢者	1	<=20.9	<=2.6	13.0+	7.2+	5.4+
		2	21.0 - 25.3	2.7 - 4.7	12.9 - 11.0	7.1 - 5.7	5.3 - 4.4
		3	25.4 - 29.2	4.8 - 9.5	10.9 - 9.1	5.6 - 4.8	4.3 - 3.7
		4	29.3 - 33.0	9.6 - 23.7	9.0 - 7.5	4.7 - 4.2	3.6 - 3.1
		5	33.1+	23.8+	<=7.4	<=4.1	<=3.0
	要支援者	1	<=17.9	<=1.9	23.0+	11.9+	9.3+
		2	18.0 - 22.0	2.0 - 3.6	22.9 - 16.6	11.8 - 8.6	9.2 - 6.6
		3	22.4 - 25.3	3.7 - 6.0	16.5 - 13.0	8.5 - 7.0	6.5 - 5.2
		4	25.5 - 30.0	6.1 - 13.9	12.9 - 10.2	6.9 - 5.6	5.1 - 4.2
		5	30.1+	14.0+	<=10.1	<=5.5	<=4.1
女性	特定高齢者	1	<=14.9	<=3.0	12.8+	6.9+	5.5+
		2	15.0 - 17.6	3.1 - 5.5	12.7 - 10.2	6.8 - 5.4	5.4 - 4.4
		3	17.7 - 19.9	5.6 - 10.0	10.1 - 9.0	5.3 - 4.8	4.3 - 3.8
		4	20.0 - 22.4	10.1 - 24.9	8.9 - 7.6	4.7 - 4.1	3.7 - 3.2
		5	22.5+	25.0+	<=7.5	<=4.0	<=3.1
	要支援者	1	<=10.9	<=1.4	23.2+	12.3+	10.2+
		2	11.0 - 13.4	1.5 - 2.8	23.1 - 17.7	12.2 - 9.1	10.1 - 7.3
		3	13.5 - 15.9	2.9 - 5.0	17.6 - 13.8	9.0 - 7.3	7.2 - 5.9
		4	16.0 - 18.4	5.1 - 11.0	13.7 - 10.9	7.2 - 6.0	5.8 - 4.7
		5	18.5+	11.1+	<=10.8	<=5.9	<=4.6

属性等による各種指標の推移との関連について：総論①

全数を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○年齢は、若年であるほど維持・改善しやすい。

・特定高齢者・要支援者ともに、年齢が高いほど、要介護度、基本チェックリスト区分、認知症高齢者の日常生活自立度の維持・改善のオッズ比が有意に1未満。

○独居者は、維持・改善しやすい。

・要支援者では、同居者がいる場合は、要介護度の維持・改善のオッズ比が有意に1未満。

○ふだんの過ごし方で役割がある者は、維持・改善しやすい。 ⇨ ふだんの生活に役割を持たせることが重要

・要支援者では、ふだんの過ごし方で役割がある場合は、要介護度の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。

		要介護度		基本チェックリスト区分		認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度		主観的健康度		SF8身体		SF8精神	
		オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値
年齢	特定高齢者														
	連続変数	0.95 (0.92-0.98)	0.003	0.97 (0.95-0.99)	0.007	0.95 (0.92-0.97)	<0.001	0.99 (0.96-1.01)	0.288	0.99 (0.97-1.01)	0.137	0.98 (0.96-1.01)	0.176	1.00 (0.97-1.03)	0.943
	要支援者														
	連続変数	0.99 (0.98-1.00)	0.005	0.98 (0.97-0.99)	<0.001	0.97 (0.96-0.98)	<0.001	0.99 (0.98-1.00)	0.060	0.99 (0.98-1.00)	0.125	1.00 (0.99-1.01)	0.772	1.00 (0.99-1.01)	0.831
性別	特定高齢者														
	男性	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	女性	1.05 (0.66-1.69)	0.832	1.02 (0.75-1.40)	0.902	1.10 (0.77-1.59)	0.594	1.00 (0.69-1.45)	0.997	1.13 (0.84-1.52)	0.418	0.86 (0.59-1.25)	0.425	0.89 (0.57-1.38)	0.596
	要支援者														
	男性	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	女性	1.09 (0.95-1.26)	0.234	1.09 (0.93-1.27)	0.287	1.04 (0.88-1.22)	0.671	1.02 (0.85-1.23)	0.855	1.00 (0.85-1.16)	0.956	1.18 (0.98-1.43)	0.079	0.94 (0.77-1.15)	0.574
同居者	特定高齢者														
	なし	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	あり	0.90 (0.53-1.52)	0.698	0.86 (0.61-1.21)	0.387	1.13 (0.77-1.65)	0.537	1.19 (0.82-1.73)	0.371	1.01 (0.74-1.39)	0.929	0.98 (0.67-1.45)	0.933	1.38 (0.90-2.10)	0.138
	要支援者														
	なし	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	あり	0.82 (0.71-0.94)	0.006	1.03 (0.89-1.19)	0.706	0.95 (0.81-1.11)	0.521	0.92 (0.77-1.10)	0.350	1.02 (0.89-1.18)	0.752	1.04 (0.87-1.24)	0.705	1.09 (0.91-1.32)	0.343
ふだんの過ごし方(役割)	特定高齢者														
	なし	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	あり	1.20 (0.79-1.84)	0.393	0.98 (0.75-1.29)	0.906	0.83 (0.61-1.15)	0.268	0.98 (0.71-1.35)	0.900	0.97 (0.75-1.26)	0.833	0.92 (0.67-1.27)	0.619	1.04 (0.73-1.49)	0.826
	要支援者														
	なし	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	あり	1.21 (1.05-1.40)	0.008	0.91 (0.79-1.05)	0.195	1.14 (0.98-1.33)	0.090	0.95 (0.80-1.13)	0.553	1.02 (0.89-1.17)	0.782	1.04 (0.87-1.23)	0.697	1.09 (0.91-1.31)	0.337

※上記の他、基本チェックリスト得点、長谷川式簡易知能評価スケール、GDS15、認知的活動、疾患既往歴、社会的支援(困ったときの相談相手、体の具合が悪い時の相談相手、日常生活を支援してくれる人、具合が悪いとき病院に連れて行ってってくれる人、寝込んだとき身のまわりの世話をしてくれる人)を投入して分析

属性等による各種指標の推移との関連について: 総論②

全数を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○認知機能が高い者は、維持・改善しやすい。 ➡ 認知機能の低下が少ない段階からの対応が重要
 ・要支援者では、長谷川式簡易知能評価スケール21点以上(認知機能が高い)の者は20点以下の者に比べて要介護度の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。

○認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は、維持・改善しやすい。

・特定高齢者では、得点の高い方が要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。
 ・要支援者では、15-18点の場合に基本チェックリスト区分の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。

※ 認知的活動: テレビを見る、ラジオを聞く、新聞を読む、雑誌を読む、本を読む、トランプ・マージャンなどのゲームをする 等

➡ 認知的活動を活発に行うことが重要

		要介護度		基本チェックリスト区分		認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度		主観的健康度		SF8身体		SF8精神	
		オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値
基本チェックリスト得点	特定高齢者 連続変数	0.94 (0.89-0.99)	0.020	-	-	0.94 (0.90-0.98)	0.001	0.97 (0.93-1.01)	0.147	1.02 (0.99-1.06)	0.177	1.02 (0.98-1.06)	0.360	0.96 (0.92-1.01)	0.103
	要支援者 連続変数	0.95 (0.94-0.97)	<0.001	-	-	1.00 (0.98-1.02)	0.937	0.99 (0.97-1.01)	0.226	1.01 (1.00-1.03)	0.167	1.02 (1.00-1.05)	0.044	0.98 (0.96-1.00)	0.086
長谷川式簡易知能評価スケール	特定高齢者 20点以下	1.00	-	1.00	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	特定高齢者 21点以上	1.36 (0.80-2.31)	0.254	0.72 (0.47-1.11)	0.136	-	-	0.98 (0.61-1.59)	0.944	0.80 (0.52-1.21)	0.292	1.17 (0.73-1.89)	0.511	0.66 (0.35-1.24)	0.196
	要支援者 20点以下	1.00	-	1.00	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	要支援者 21点以上	1.59 (1.38-1.83)	<0.001	0.96 (0.81-1.14)	0.610	-	-	1.08 (0.89-1.31)	0.467	0.97 (0.82-1.15)	0.722	1.00 (0.81-1.24)	0.983	1.06 (0.86-1.32)	0.585
GDS15	特定高齢者 11点以上	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	特定高齢者 10点以下	1.20 (0.57-2.52)	0.629	0.65 (0.34-1.24)	0.190	0.75 (0.37-1.50)	0.410	0.83 (0.40-1.69)	0.600	0.95 (0.53-1.70)	0.860	0.91 (0.44-1.86)	0.790	1.46 (0.74-2.88)	0.272
	要支援者 11点以上	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	要支援者 10点以下	0.95 (0.77-1.16)	0.592	0.94 (0.75-1.18)	0.593	1.05 (0.83-1.32)	0.696	0.75 (0.56-1.01)	0.055	0.90 (0.71-1.13)	0.359	1.22 (0.93-1.60)	0.154	0.67 (0.48-0.92)	0.013
認知的活動	特定高齢者 14点以下	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	特定高齢者 15-18点	1.65 (1.02-2.67)	0.042	1.10 (0.79-1.53)	0.567	1.07 (0.75-1.55)	0.701	1.05 (0.71-1.54)	0.804	1.18 (0.85-1.62)	0.322	1.03 (0.70-1.51)	0.893	0.98 (0.64-1.52)	0.935
	特定高齢者 19点以上	2.00 (1.22-3.26)	0.006	1.25 (0.91-1.72)	0.165	1.61 (1.10-2.35)	0.015	1.04 (0.72-1.51)	0.836	1.01 (0.75-1.37)	0.943	1.09 (0.75-1.58)	0.666	1.17 (0.76-1.80)	0.467
	要支援者 14点以下	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	要支援者 15-18点	1.10 (0.95-1.27)	0.216	1.19 (1.01-1.40)	0.036	1.09 (0.93-1.29)	0.289	1.00 (0.83-1.21)	0.982	0.95 (0.81-1.11)	0.493	1.15 (0.94-1.39)	0.174	0.99 (0.81-1.21)	0.882
	要支援者 19点以上	1.13 (0.97-1.31)	0.117	1.06 (0.91-1.24)	0.457	1.14 (0.97-1.35)	0.115	1.01 (0.83-1.21)	0.962	0.99 (0.85-1.16)	0.929	1.04 (0.86-1.26)	0.668	0.96 (0.79-1.17)	0.673

※上記の他、年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、疾患既往歴、社会的支援を投入して分析

属性等による各種指標の推移との関連について：総論③

全数を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○疾患既往歴は、介護予防に係る各種指標の推移に関連がある。

○脳血管疾患既往歴がない者は、維持・改善しやすい。

・特定高齢者では、脳血管疾患既往歴がない場合に要介護度の維持・改善のオッズ比は有意に1より大。また、高齢による衰弱の既往歴がない場合には要介護度、障害高齢者の日常生活自立度、SF8精神の維持・改善のオッズ比は有意に1より大。
 ・要支援者では、脳血管疾患既往歴がない場合に要介護度と認知症高齢者の日常生活自立度、認知症がない場合に要介護度、高齢による衰弱がない場合に要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。一方、関節疾患既往歴がない場合は要介護度、高齢による衰弱がない場合はSF8精神の維持・改善のオッズ比が有意に1未満。

		要介護度		基本チェックリスト区分		認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度		主観的健康度		SF8身体		SF8精神	
		オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値
疾患既往歴 (脳血管疾患)	特定高齢者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	2.01 (1.13-3.56)	0.018	0.87 (0.55-1.37)	0.538	0.97 (0.58-1.62)	0.909	1.04 (0.62-1.75)	0.880	0.84 (0.54-1.30)	0.426	1.45 (0.90-2.33)	0.123	0.94 (0.51-1.75)	0.848
	要支援者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	1.21 (1.03-1.42)	0.023	1.06 (0.89-1.26)	0.521	1.22 (1.02-1.47)	0.029	1.21 (0.99-1.48)	0.063	0.89 (0.75-1.06)	0.187	0.84 (0.67-1.05)	0.120	0.88 (0.70-1.10)	0.251
疾患既往歴 (関節疾患)	特定高齢者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	1.31 (0.81-2.12)	0.267	0.98 (0.72-1.33)	0.892	0.81 (0.55-1.19)	0.289	0.90 (0.62-1.30)	0.563	0.96 (0.72-1.28)	0.796	0.82 (0.57-1.18)	0.288	1.03 (0.69-1.55)	0.873
	要支援者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	0.86 (0.73-1.00)	0.044	0.88 (0.75-1.03)	0.097	1.01 (0.86-1.19)	0.893	0.84 (0.69-1.02)	0.077	0.97 (0.84-1.13)	0.709	1.00 (0.83-1.21)	0.994	0.81 (0.66-0.99)	0.038
疾患既往歴 (認知症)	特定高齢者														
	あり	1.00	-	1.00	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	1.11 (0.44-2.78)	0.831	1.13 (0.56-2.30)	0.736	-	-	0.69 (0.26-1.79)	0.441	0.85 (0.40-1.80)	0.663	0.50 (0.17-1.43)	0.196	-	0.977
	要支援者														
	あり	1.00	-	1.00	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	2.58 (2.05-3.25)	<0.001	0.93 (0.68-1.28)	0.669	-	-	0.93 (0.66-1.32)	0.687	1.07 (0.79-1.44)	0.667	1.23 (0.86-1.75)	0.257	0.87 (0.58-1.31)	0.502
疾患既往歴 (骨折・転倒)	特定高齢者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	1.60 (0.90-2.87)	0.111	0.79 (0.50-1.23)	0.292	0.86 (0.51-1.43)	0.552	0.93 (0.56-1.55)	0.787	0.95 (0.64-1.43)	0.809	0.99 (0.60-1.61)	0.954	1.68 (1.03-2.73)	0.036
	要支援者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	1.03 (0.88-1.21)	0.683	0.85 (0.72-1.02)	0.077	1.07 (0.90-1.27)	0.457	1.01 (0.82-1.23)	0.946	0.93 (0.78-1.10)	0.370	1.01 (0.82-1.25)	0.892	1.00 (0.80-1.23)	0.961
疾患既往歴 (高齢による衰弱)	特定高齢者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	2.04 (1.09-3.81)	0.027	1.30 (0.80-2.12)	0.290	0.65 (0.34-1.23)	0.182	1.81 (1.10-2.98)	0.019	0.75 (0.44-1.28)	0.294	0.81 (0.42-1.55)	0.517	1.98 (1.10-3.56)	0.023
	要支援者														
	あり	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
	なし	1.35 (1.09-1.67)	0.006	0.92 (0.73-1.18)	0.520	1.26 (1.00-1.59)	0.046	1.02 (0.77-1.35)	0.883	0.81 (0.63-1.03)	0.081	0.94 (0.70-1.26)	0.663	0.83 (0.45-0.89)	0.009

※上記の他、年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、基本チェックリスト得点、長谷川式簡易知能評価スケール、GDS15、認知的活動、社会的支援を投入して分析

運動器の機能向上①

運動器の機能に係るリスクが高い(基本チェックリストで運動器関連の5項目中3項目以上該当する)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○年齢は、若年であるほど改善しやすい。

・特定高齢者では、年齢が高いほど、基本チェックリスト(運動器関連項目)の改善のオッズ比が有意に1未満。

○性別は、男性の方が改善しやすい。

・特定高齢者では、女性の方が、基本チェックリスト(運動器関連項目)の改善のオッズ比が有意に1未満。

○ふだんの過ごし方で役割がある者は改善しやすい。 ➡ ふだんの生活に役割を持たせることが重要

・要支援者では、ふだんの過ごし方で役割がある場合は、基本チェックリスト(運動器関連項目)の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。

○基本チェックリスト得点が高い(生活機能の程度が高い)ほど改善しやすい。

・特定高齢者、要支援者ともに、基本チェックリスト得点が高いほど、基本チェックリスト(運動器関連項目)の改善のオッズ比が有意に1未満。

➡ 生活機能の低下が少ない段階からの対応が重要

○認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。

・特定高齢者、要支援者ともに、得点の高い方が基本チェックリスト(運動器関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

➡ 認知的活動を活発に行うことが重要

		基本チェックリスト(運動器関連項目)			
		特定高齢者		要支援	
		オッズ比 (95%CI)	p-値	オッズ比 (95%CI)	p-値
年齢	連続変数	1.00		1.00	
		0.97 (0.95- 1.00)	0.020	0.99 (0.98- 1.01)	0.407
性別	男性	1.00		1.00	
	女性	0.65 (0.46- 0.91)	0.013	0.79 (0.61- 1.03)	0.077
同居者	なし	1.00		1.00	
	あり	0.89 (0.63- 1.27)	0.530	0.85 (0.67- 1.09)	0.196
ふだんの過ごし方(役割)	なし	1.00		1.00	
	あり	1.07 (0.80- 1.44)	0.644	1.33 (1.05- 1.67)	0.016
基本チェックリスト得点	連続変数	0.914 (0.86- 0.96)	0.000	0.908 (0.88- 0.94)	0.000
長谷川式簡易知能評価スケール	20点以下	1.00		1.00	
	21点以上	0.86 (0.55- 1.35)	0.517	0.98 (0.72- 1.32)	0.884
GDS15	11点以上	1.00		1.00	
	10点以下	0.82 (0.44- 1.53)	0.534	1.10 (0.70- 1.73)	0.676
認知的活動	14点以下	1.00		1.00	
	15-18点	1.05 (0.72- 1.52)	0.803	1.07 (0.82- 1.41)	0.615
	19点以上	1.43 (1.01- 2.03)	0.045	1.34 (1.04- 1.73)	0.024

※上記の他、疾患既往歴、社会的支援、利用サービスを投入して分析

運動器の機能向上②

運動器の機能に係るリスクが高い(基本チェックリストで運動器関連の5項目中3項目以上該当する)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

- 要支援者に対する介護予防通所介護(運動器の機能向上サービス)の実施者は改善しやすい。
 ・要支援者では、介護予防通所介護(運動器の機能向上サービス)を実施している者は、基本チェックリスト(運動器関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

		基本チェックリスト(運動器関連項目)			
		特定高齢者		要支援者	
		オッズ比 (95%CI)	p-値	オッズ比 (95%CI)	p-値
疾患既往歴(脳血管疾患)	あり	1.00		1.00	
	なし	0.99 (0.62- 1.57)	0.951	1.20 (0.89- 1.62)	0.237
疾患既往歴(関節疾患)	あり	1.00		1.00	
	なし	1.30 (0.93- 1.81)	0.121	1.54 (1.18- 2.02)	0.002
疾患既往歴(認知症)	あり	1.00		1.00	
	なし	0.44 (0.22- 0.88)	0.020	0.51 (0.32- 0.81)	0.004
疾患既往歴(骨折・転倒)	あり	1.00		1.00	
	なし	0.84 (0.55- 1.26)	0.395	1.38 (1.03- 1.86)	0.032
疾患既往歴(高齢による衰弱)	あり	1.00		1.00	
	なし	1.44 (0.78- 2.66)	0.248	1.23 (0.80- 1.88)	0.341
通所型介護事業(運動器の機能向上)	非実施	1.00		—	
	実施	1.04 (0.60- 1.83)	0.893		
訪問型介護事業(運動器の機能向上)	非実施	1.00		—	
	実施	0.72 (0.36- 1.43)	0.351		
介護予防通所介護(運動器の機能向上)	非実施	—		1.00	
	実施			1.35 (1.03- 1.77)	0.029
介護予防通所リハビリテーション(運動器の機能向上)	非実施	—		1.00	
	実施			1.07 (0.79- 1.44)	0.680
介護予防通所介護(アクティビティ)	非実施	—		1.00	
	実施			1.12 (0.85- 1.48)	0.419

※上記の他、年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、基本チェックリスト得点、長谷川式簡易知能評価スケール、GDS15、認知的活動、社会的支援を投入して分析

運動器の機能向上③

運動器の機能向上サービスの利用者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○運動器に係る指標は、マシンによる又はマシンによらない筋力増強訓練、持久性訓練及び日常生活に関わる訓練で、維持・改善しやすい。

・特定高齢者では、マシンによる筋力増強訓練において通常歩行時間、マシンによらない筋力増強訓練においては主観的健康度と通常歩行時間、持久性訓練においては通常歩行時間と最大歩行時間の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。また、日常生活動作に関わる訓練においては片足立ち時間、TUG、通常歩行時間及び最大歩行時間の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。

		要介護度		基本チェックリスト区分		主観的健康度		片足立ち時間		TUG		通常歩行時間		最大歩行時間	
		オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値
特定 高齢者	マシンによる筋力増強訓練	0.816	0.543	1.452	0.095	1.161	0.440	1.260	0.277	1.310	0.253	2.177	0.008	1.171	0.495
	マシンによらない筋力増強訓練	1.377	0.242	1.393	0.075	1.959	0.000	0.873	0.454	1.352	0.119	1.934	0.003	1.413	0.073
	持久性訓練	0.749	0.424	1.286	0.298	1.457	0.078	1.280	0.289	1.176	0.545	2.639	0.019	3.020	0.000
	日常生活動作に関わる訓練	0.766	0.342	1.398	0.079	1.170	0.360	2.010	0.000	1.497	0.041	1.616	0.025	1.651	0.008
	レクリエーション・ゲーム	0.772	0.345	0.874	0.446	1.012	0.940	0.924	0.635	0.526	0.001	0.958	0.829	0.857	0.387
要 支援者	マシンによる筋力増強訓練	1.318	0.051	0.878	0.394	0.853	0.259	1.302	0.112	1.085	0.639	1.158	0.392	1.015	0.929
	マシンによらない筋力増強訓練	1.306	0.031	0.761	0.052	1.001	0.993	1.172	0.303	1.114	0.493	0.931	0.649	0.952	0.757
	持久性訓練	1.296	0.076	0.781	0.098	1.124	0.419	0.726	0.036	1.070	0.692	1.062	0.714	0.795	0.150
	日常生活動作に関わる訓練	1.110	0.353	0.960	0.743	0.911	0.420	1.041	0.768	1.008	0.951	1.002	0.986	0.927	0.576
	レクリエーション・ゲーム	0.907	0.412	0.917	0.517	0.897	0.376	1.113	0.444	0.778	0.091	1.151	0.317	1.327	0.044

※上記の他、年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、基本チェックリスト得点、長谷川式簡易知能評価スケール、GDS15、認知的活動、社会的支援を投入して分析 19

運動器の機能向上④

運動器の機能向上サービスの利用者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

- 実施回数が多い（週2回以上）の場合で維持・改善しやすい。
・特定高齢者では、実施回数が週1回以上の場合に通常歩行時間の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。
- 実施時間が長い（2時間以上）の場合で維持・改善しやすい。
・特定高齢者では、実施時間が1時間以上の場合に要介護度の維持・改善のオッズ比が1より大。
・要支援者では、30分以上1時間未満の場合にTUG、1時間以上2時間未満の場合に片足立ち時間の維持・改善のオッズ比が1より大。

			要介護度		基本チェックリスト区分		主観的健康度		片足立ち時間		TUG		通常歩行時間		最大歩行時間	
			オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値
特定 高齢者	実施 回数	週1回未満	1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000	
		週1回以上 週2回未満	1.599	0.201	1.082	0.770	1.100	0.697	1.270	0.370	1.159	0.626	2.172	0.005	1.447	0.171
		週2回以上	1.168	0.766	1.367	0.425	1.007	0.983	1.550	0.247	1.074	0.862	4.220	0.001	1.701	0.181
	実施 時間	30分未満	1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000	
		30分以上 1時間未満	1.475	0.508	0.771	0.703	0.826	0.712	1.076	0.897	0.460	0.339	0.594	0.415	1.769	0.307
		1時間以上 2時間未満	3.763	0.017	0.695	0.569	1.140	0.785	1.483	0.445	0.557	0.449	1.212	0.747	2.110	0.130
		2時間以上	4.599	0.007	0.725	0.616	1.136	0.792	1.056	0.916	0.320	0.138	0.560	0.326	1.043	0.932
要 支援者	実施 回数	週1回未満	1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000	
		週1回以上 週2回未満	0.833	0.331	0.699	0.100	1.116	0.547	0.931	0.759	1.028	0.903	1.042	0.854	1.008	0.973
		週2回以上	1.149	0.483	0.658	0.065	1.381	0.097	0.804	0.372	1.426	0.137	1.160	0.527	0.913	0.705
	実施 時間	30分未満	1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000	
		30分以上 1時間未満	1.311	0.074	1.031	0.859	1.251	0.151	1.405	0.068	1.729	0.003	0.942	0.743	0.900	0.570
		1時間以上 2時間未満	1.291	0.124	0.965	0.848	1.302	0.122	1.541	0.030	1.093	0.647	1.410	0.095	1.187	0.405
		2時間以上	1.056	0.749	0.935	0.723	1.184	0.337	1.395	0.110	1.297	0.206	1.157	0.486	1.173	0.450

※上記の他、年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、基本チェックリスト得点、長谷川式簡易知能評価スケール、GDS15、認知的活動、社会的支援を投入して分析

運動器の機能向上⑤

運動器の機能向上サービスの利用者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○属性とサービスとの関連は、以下のとおりとなった。

(要介護度・基本チェックリスト区分の維持改善の両者に共通する結果のみ抽出)

- ・脳血管疾患の既往がない者では、マシンによる筋力増強訓練で維持・改善しやすい。
- ・認知症の既往がない者では、日常生活動作に関わる訓練で維持・改善しやすい。
- ・認知機能が低下していない者では、マシンによらない筋力増強訓練が維持・改善しやすい。
- ・認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)では、日常生活動作に関する訓練及びレクリエーション・ゲームで維持・改善しやすい。
- ・要支援者よりも特定高齢者の方が、すべてのサービス内容で維持・改善しやすい。

⇒ 対象者の属性に応じたサービスを提供することで、より効果的・効率的なサービスとなる可能性がある

		マシンによる筋力増強				マシンによらない筋力増強				持久性訓練				日常生活動作に関わる訓練				レクリエーション・ゲーム			
		要介護度		基本チェックリスト区分		要介護度		基本チェックリスト区分		要介護度		基本チェックリスト区分		要介護度		基本チェックリスト区分		要介護度		基本チェックリスト区分	
		オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値	オッズ比	p-値
高齢区分	後期高齢者=1	0.77	0.33	0.91	0.70	0.84	0.36	0.68	0.03	1.17	0.60	1.12	0.65	0.67	0.11	0.79	0.31	0.73	0.10	0.71	0.07
性別	女性=1	1.22	0.33	0.85	0.44	1.09	0.54	0.86	0.32	1.06	0.82	1.03	0.92	1.10	0.60	0.77	0.18	1.25	0.13	0.77	0.12
要介護度	要支援者=1	0.42	0.00	0.53	0.00	0.24	0.00	0.54	0.00	0.41	0.00	0.39	0.00	0.33	0.00	0.54	0.00	0.29	0.00	0.69	0.01
同居者	あり=1	1.09	0.74	0.92	0.74	0.77	0.11	0.81	0.17	0.85	0.61	0.73	0.30	0.92	0.67	0.83	0.38	0.92	0.59	0.91	0.54
ふだんの過ごし方	あり=1	1.40	0.14	1.46	0.06	1.10	0.52	1.29	0.05	1.07	0.79	1.34	0.22	1.32	0.13	1.59	0.01	1.27	0.09	1.42	0.01
基本チェックリスト得点	連続	0.94	0.02	1.18	0.00	0.96	0.01	1.19	0.00	0.95	0.09	1.17	0.00	0.96	0.09	1.19	0.00	0.96	0.01	1.18	0.00
長谷川式簡易知能評価スケール	21点以上=1	1.71	0.03	1.31	0.33	1.75	0.00	1.41	0.03	1.08	0.81	1.14	0.69	1.59	0.01	1.36	0.14	2.15	0.00	1.36	0.06
GDS15	10点以下=1	0.91	0.80	1.87	0.12	1.11	0.65	2.17	0.00	0.96	0.94	2.37	0.07	1.00	1.00	1.95	0.04	0.97	0.87	1.80	0.02
認知的活動	14点以下	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	15点-18点	1.01	0.96	1.39	0.16	1.16	0.31	1.43	0.02	1.12	0.70	1.18	0.56	1.52	0.02	1.47	0.05	1.11	0.47	1.32	0.07
	19点以上	1.66	0.04	1.35	0.17	1.19	0.27	1.37	0.03	1.21	0.50	1.08	0.78	1.53	0.02	1.48	0.04	1.36	0.05	1.39	0.03
疾患既往症(脳血管疾患)	なし=1	1.59	0.05	1.93	0.01	1.28	0.12	1.02	0.91	1.09	0.77	1.65	0.07	1.49	0.03	0.88	0.56	1.34	0.06	1.09	0.62
疾患既往症(関節疾患)	なし=1	0.87	0.57	1.02	0.92	0.83	0.23	1.03	0.82	1.17	0.56	0.95	0.85	0.72	0.10	0.76	0.16	0.92	0.58	1.08	0.59
疾患既往症(認知症)	なし=1	2.85	0.01	1.17	0.76	2.20	0.00	1.45	0.16	1.75	0.42	1.48	0.53	2.90	0.00	2.17	0.02	1.93	0.00	1.09	0.75
疾患既往症(骨折・転倒)	なし=1	1.03	0.91	0.84	0.52	0.85	0.32	0.84	0.30	1.81	0.04	0.69	0.25	0.89	0.57	0.83	0.38	0.93	0.65	0.88	0.45
疾患既往症(衰弱)	なし=1	1.47	0.27	2.21	0.01	1.41	0.12	0.99	0.97	1.13	0.81	1.52	0.36	1.34	0.28	0.96	0.90	1.47	0.08	1.26	0.31

※上記の他、社会的支援を投入して分析

栄養改善①

栄養に係るリスクが高い(特定高齢者では基本チェックリストで栄養関連の2項目中2項目、要支援者では2項目のいずれかが該当。BMIと体重増加率の分析ではBMI18.5未満、食事摂取量の分析では不良)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○特定高齢者では、男性の方が改善しやすい。

・特定高齢者では、女性の方が、BMIの改善のオッズ比が有意に1未満。

○要支援者では、基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)ほど改善しやすい。

・要支援者では、基本チェックリスト得点が高いほど、基本チェックリスト(栄養関連項目)の改善のオッズ比が有意に1未満。

	特定高齢者										要支援者								
	基本チェックリスト(栄養関連項目)				BMI(18.5未満)		体重増加率		食事摂取量		基本チェックリスト(栄養関連項目)		BMI(18.5未満)		体重増加率		食事摂取量		
	多変量補正		参考(性・年齢補正)		オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	
	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値															
年齢																			
連続変数	-	-			1.04(0.99-1.09)	0.115	0.98(0.94-1.03)	0.464	-	-	0.99(0.97-1.00)	0.059	0.99(0.97-1.01)	0.288	0.99(0.97-1.02)	0.540	1.00(0.97-1.03)	0.959	
性別																			
男性	-	-			1.00	-	1.00	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	
女性	-	-			0.40(0.19-0.87)	0.020	0.50(0.24-1.05)	0.065	-	-	1.24(0.99-1.55)	0.061	1.22(0.86-1.72)	0.267	1.10(0.76-1.58)	0.605	0.92(0.56-1.51)	0.736	
基本チェックリスト得点																			
連続変数	-	-	1.02(0.88-1.17)	0.830	-	-	-	-	-	-	0.96(0.94-0.98)	<0.001	-	-	-	-	-	-	
長谷川式簡易知能																			
評価スケール																			
20点以下	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21点以上	-	-	0.73(0.12-4.48)	0.732	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GDS15																			
11点以上	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10点以下	-	-	0.80(0.14-4.54)	0.798	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
認知的活動																			
14点以下	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	
15-18点	-	-	2.59(0.59-11.41)	0.210	-	-	-	-	-	-	-	-	0.78(0.55-1.12)	0.187	-	-	0.57(0.34-0.95)	0.030	
19点以上	-	-	2.43(0.63-9.38)	0.197	-	-	-	-	-	-	-	-	0.75(0.52-1.07)	0.110	-	-	0.81(0.49-1.36)	0.427	

※ロジスティック回帰分析においては、性・年齢補正の解析で「p<0.1」であった項目のみを投入して分析

※上記の他、疾患既往歴、社会的支援、利用サービスを投入して分析

栄養改善②

栄養に係るリスクが高い(特定高齢者では基本チェックリストで栄養関連の2項目中2項目、要支援者では2項目のいずれかが該当。BMIと体重増加率の分析ではBMI18.5未満、食事摂取量の分析では不良)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○認知症の既往歴のない者及び高齢による衰弱の既往歴のない者では、改善しやすい。

- ・特定高齢者では、高齢による衰弱の既往歴のない者では、BMIの改善のオッズ比が有意に1より大。
- ・要支援者では、認知症の既往歴がない者は、基本チェックリスト(栄養関連項目)、BMI、体重増加率の改善のオッズ比が有意に1より大。

○栄養改善サービスの利用による改善のオッズに違いはなかった。

- ・特定高齢者及び要支援者において、栄養改善に係るサービスによる、有意な改善のオッズ比は算出されなかった。

	特定高齢者										要支援者									
	基本チェックリスト(栄養関連項目)				BMI(18.5未満)		体重増加率		食事摂取量		基本チェックリスト(栄養関連項目)		BMI(18.5未満)		体重増加率		食事摂取量			
	多変量補正		参考(性・年齢補正)		オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値		
	オッズ比(95%CI)	p-値	オッズ比(95%CI)	p-値																
疾患既往歴(脳血管疾患)																				
あり	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-		
なし	-	-	1.35(0.21-8.92)	0.753	-	-	-	-	-	-	0.73(0.56-0.95)	0.018	-	-	-	-	-	-		
疾患既往歴(関節疾患)																				
あり	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
なし	-	-	0.79(0.12-5.12)	0.802	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
疾患既往歴(認知症)																				
あり	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	-	-		
なし	-	-	2.29(0.13-39.95)	0.569	-	-	-	-	-	-	1.64(1.01-2.66)	0.044	2.28(1.04-4.99)	0.039	2.58(1.12-5.94)	0.026	-	-		
疾患既往歴(骨折・転倒)																				
あり	-	-	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-		
なし	-	-	0.30(0.03-2.89)	0.299	3.26(0.90-11.81)	0.072	-	-	-	-	-	-	-	-	0.75(0.51-1.10)	0.136	-	-		
疾患既往歴(高齢による衰弱)																				
あり	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-		
なし	-	-	1.51(0.08-28.49)	0.785	8.89(1.09-72.42)	0.041	3.72(0.77-17.95)	0.102	-	-	-	-	1.71(0.92-3.18)	0.087	-	-	-	-		
通所型介護予防事業(栄養改善)																				
非実施	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
実施	-	-	1.40(0.47-4.17)	0.550	1.78(0.92-3.45)	0.085	1.57(0.80-3.08)	0.186	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
訪問型介護予防事業(栄養改善)																				
非実施	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
実施	-	-	0.88(0.14-5.53)	0.891	0.92(0.21-4.04)	0.913	0.88(0.22-3.51)	0.860	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
介護予防通所介護(栄養改善)																				
非実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-		
実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.77(0.54-1.08)	0.133	0.89(0.55-1.45)	0.648	1.01(0.60-1.70)	0.961	1.14(0.51-2.56)	0.746		
介護予防通所介護(栄養改善)																				
非実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-		
実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.25(0.81-1.92)	0.320	0.78(0.38-1.59)	0.495	0.77(0.36-1.65)	0.499	0.70(0.28-1.80)	0.464		

※ロジスティック回帰分析においては、性・年齢補正の解析で「p<0.1」であった項目のみを投入して分析

※上記の他、疾患既往歴、社会的支援、利用サービスを投入して分析

○栄養改善サービスを利用した者を対象とした、属性やサービスと栄養関連の指標の推移との関連については、栄養改善サービスの利用者が少ないことから分析ができなかった。

口腔機能の向上①

口腔機能に係るリスクが高い(基本チェックリストで口腔関連の3項目中2項目以上該当する(目的変数が基本チェックリストの改善)、または、かみしめが「片方だけできる」もしくは「どちらもできない」(目的変数がかみしめの改善))者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○基本チェックリスト得点が高い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。

・要支援者では、基本チェックリスト得点が高いほど、基本チェックリスト(口腔機能関連項目)及びかみしめの改善のオッズ比が有意に1より大。

○認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。

・要支援者では、認知的活動の得点が高いほど、かみしめの改善のオッズ比が有意に1より大。

➡ 認知的活動を活発に行うことが重要

	特定高齢者						要支援者					
	基本チェックリスト(口腔機能関連項目)			かみしめ			基本チェックリスト(口腔機能関連項目)			かみしめ		
	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値
年齢	連続変数											
	0.98	(0.95-1.01)	0.130	1.03	(0.99-1.07)	0.117	1.00	(0.99-1.02)	0.520	1.01	(0.99-1.03)	0.234
性別	男性											
	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
	女性											
	0.92	(0.6-1.4)	0.695	1.37	(0.79-2.37)	0.256	1.12	(0.88-1.43)	0.345	1.19	(0.9-1.58)	0.211
基本チェックリスト得点	連続変数											
	0.96	(0.91-1)	0.073	1.03	(0.97-1.09)	0.399	0.96	(0.93-0.99)	0.003	0.96	(0.93-0.99)	0.004
長谷川式簡易知能評価スケール	20点以下											
	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
	21点以上											
	1.05	(0.6-1.83)	0.865	0.43	(0.22-0.86)	0.017	0.98	(0.75-1.28)	0.875	1.38	(1.02-1.86)	0.038
GDS15	11点以上											
	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
	10点以下											
	1.37	(0.72-2.61)	0.337	1.06	(0.45-2.49)	0.887	1.23	(0.92-1.64)	0.159	1.17	(0.85-1.62)	0.337
認知的活動	14点以下											
	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
	15-18点											
	0.78	(0.5-1.21)	0.265	1.40	(0.79-2.5)	0.251	1.02	(0.8-1.29)	0.906	1.31	(1-1.72)	0.048
	19点以上											
	0.77	(0.5-1.2)	0.252	1.28	(0.73-2.27)	0.391	0.94	(0.74-1.19)	0.591	1.35	(1.02-1.79)	0.034

※上記の他、疾患既往歴、介護予防サービスを同時に投入